

若狭町 議会だより



JC子供議会 (三方中)

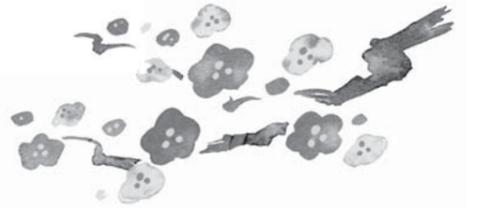


◆ もくじ

- 議長 新年挨拶……………P2
- 12月議会概要……………P2
- 常任委員会報告……………P3～P4
- 議決議案……………P5
- 一般質問……………P6～P8
- 平成24年「第2回議員と語る会」……P8～P9
- 常任委員会視察報告……………P10～P11
- 議会の動き……………P12



謹賀新年
素晴らしい
笑顔の年でありますように
議長 小俣 友彦

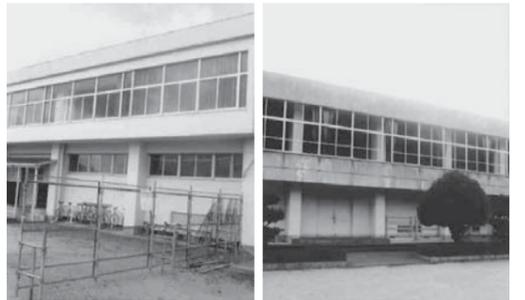


若狭町議会も二期目の任期を、あと三ヶ月を残すばかりとなりました。

議会の改革、活性化に取り組んでまいりましたが、開かれた議会、行動する議会をめざして、なお一層の努力をいたします。

今年、六十年に一度の出雲大社の大遷宮、二十一年一度の伊勢神宮の式年遷宮が行われ、「再生」がキーワードと言われております。政権交代、安倍総理の誕生で株価も上がり、なにか将来「日本再生」が見えてきたような気がします。議員一同、残された任期を全力で取り組みます。

議会が皆様から頂きましたご理解、ご協力に感謝し、若狭町の発展と皆様のご健康、ご多幸をお祈りし、新年のご挨拶いたします。



三方・三宅小学校体育館の耐震改修

12月定例議会の概要

一般会計補正増額

会計名	補正額	合計額
一般会計	4億5,565万円	103億8,022万円

◆主な事業

総務費	・嶺南連携事業	有害鳥獣食肉加工施設建設及び周辺整備工事	7,062万円
	・若者住宅整備事業	自然エネルギーを活用した宅地整備の計画策定	250万円
商工費	・企業誘致促進事業	企業の設備投資にかかる補助	1億円
民生費	・繰出金	国民健康保険特別会計への繰出金	3,718万円
衛生費	・負担金	レイクヒルズ美方病院の負担金	2,900万円
教育費	・安心安全な学校づくり事業	三方・三宅小学校体育館耐震改修	1億4,575万円

◆主な収入

地方交付税	1億890万円
県支出金	9,282万円
国庫支出金	7,181万円
繰入金	1億円
市町村債	8,020万円

◆平成24年度特別会計・企業会計

会計区分	補正額	合計額	会計区分	補正額	合計額
国民健康保険	7,335万円	18億8,361万円	工業用水道事業 (組み換え)	-	3,107万円
直営診療所	421万円	8,641万円	国民健康保険 上中病院	1,028万円	7億1,877万円
介護保険	1,048万円	15億4,754万円	土地開発事業	740万円	1,073万円

予算決算常任委員会

一般会計・特別・企業会計補正予算の6議案を慎重に審査した結果、全員賛成で可決すべきものと決定しました。

主な質疑事項

問 若狭工コビレッジ構想は、住宅団地を作るだけなのか。住宅地になると名水まわりの駐車場もなくなるのでは。

答 県から10/10の補助をいただいて、自然エネルギーを活用したモデル地区を作りたい。U・タータンで帰ってきた人に住んでほしい。水車エネルギーであじさいのライトアップ、工

問 住宅や団地内の水の利用など小水力や風力利用の発電を検討している。

答 国保医療費が伸びている原因は。

問 一般被保険者療養給付費は、当初見込みから4月～8月に伸び、退職被保険者も大幅に伸びた。高齢医療費を分析すると、虚血性心疾患が伸びている。

答 工業用水もダムで取水することになっている。将来的にダムが完成すると表流水をとって変更するのか。上中地区で水道施設を整備することになっているが、その水と一体として取った方が維持管理面からも効率がよいが。

問 ダム完成時は表流水から取水する必要があるが、上水と工水の水源を一緒にの経費面からも勉強し、検討する。小浜市とも広域的な協議もしていく。

○土地開発事業特別会計に740万円補正

追加議案で上瀬住宅整備計画の用地測量、設計、調査費が上程され、賛成多数で可決しました。

総務産業建設常任委員会

条例の制定・改正12件、指定管理者の指定1件、事業実施計画の変更1件の14件を審査。

いずれも全員賛成で原案可決すべきものと決定しました。

○若狭町道の構造の技術的基準等を定める条例の制定

・いわゆる「地域主権改革一括法」の施行に伴い、これまで国が定めていた道路の構造の技術的基準等を規定した条例を制定するものです。

○若狭町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

・一括法の改正により、準用河川に係る河川管理施設等の構造基準、設置場所等を規定した条例を制定し、適用した範囲で制定するものです。

○若狭町公共下水道の構造及び終末処理場の維持管理の基準を定める条例

・一括法の施行に伴い、下水道法が改正され、これまで国が定めていた施設の構造の技術上の基準を規定した条例を制定するものです。

○若狭町水道法施工条例の制定

・一括法により水道法が改正され、これまで国が定めていた施設の構造の技術上の基準を規定した条例を制定するものです。

○若狭町水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定

○若狭町工業用水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定

・以上2つの条例は、一括法により地方公営企業法第32条が改正され、地方公営企業が毎事業年度に

生じた利益及び剰余金の処分、欠損の処理について定めるものです。

○若狭町暴力団排除条例の一部改正

・暴力団による不当な行為の防止等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、事業者の責務を追加するものです。

○若狭町職員の定年等に関する条例の一部改正

・年金支給開始年齢の引き上げに伴い、職員の定年による退職の日を「9月30日または3月31日」のいずれか早い日を「3月31日」に改正するものです。

○若狭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

・平成20年8月11日出された人事院勧告にかんがみ、職員の勤務時間の改正を行うものです。
改正前 8時30分～17時30分 昼の休憩60分
改正後 8時30分～17時15分 昼の休憩60分

○若狭町税条例の一部改正

・軽自動車税の納期を「4月1日から4月30日まで」から「5月1日から5月31日まで」に変更し、賦課の適正化および納税の利便性等の向上を図るためのもです。

○若狭町国民健康保険税条例の一部改正

・年々増加する医療費に対応した歳入を確保するため、国民健康保険税の税率及び税額を改正し、併せて分割納付する際の端数処理について、実態に合わせて条文を追加し、平成25年4月1日より施行するものです。

改正前	所得割6.2%	人数割3万5千円
改正後	所得割8.8%	人数割4万700円
資産割42.2%	世帯割3万4千円	世帯割3万4千円
資産割42.2%	世帯割3万4千円	世帯割3万4千円

議員賛否一覧

議長は採決に加わりません。 ○賛成 ×反対

議案等名	議員名	採決月日	霜中茂実	藤本佳司	柘原直仁	北原武道	松岡喜一	福谷洋	藤田美穂	武田敏孝	清水利一	藤本勲	大塚季由	中島正昭	小堀信昭	中村正彦	小林和弘	松本孝雄	増井九右衛門	小堀友廣	
生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書不採択について		12/20	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度若狭町土地開発事業特別会計補正予算(第2号)		12/20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○

【12月5日に採決され全員賛成で可決された議案】

- ・専決処分の承認を求めることについて(平成24年度一般会計補正予算(第4号))

【12月20日に採決され全員賛成で可決された議案】

- ・若狭町介護予防拠点施設条例の全部改正について
- ・若狭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- ・若狭町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
- ・若狭町町道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について
- ・若狭町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例について
- ・若狭町公共下水道の構造及び終末処理場の維持管理の基準を定める条例の制定について
- ・若狭町水道法施行条例の制定について
- ・若狭町水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について
- ・若狭町工業用水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について
- ・若狭町国民健康保険上中病院事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について
- ・若狭町暴力団排除条例の一部改正について
- ・若狭町職員の定年等に関する条例の一部改正について
- ・若狭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ・若狭町税条例の一部改正について
- ・若狭町国民健康保険税条例の一部改正について
- ・財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部改正について
- ・若狭町母子家庭等医療費の助成に関する条例及び若狭町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について

- ・平成24年度若狭町一般会計補正予算(第5号)
- ・平成24年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ・平成24年度若狭町直営診療所特別会計補正予算(第1号)
- ・平成24年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ・平成24年度若狭町工業用水道事業会計補正予算(第1号)
- ・平成24年度若狭町国民健康保険上中病院事業会計補正予算(第1号)
- ・若狭町農村総合公園の指定管理者の指定について
- ・村づくり交付金事業実施計画の変更について
- ・指定金融機関の指定について(若狭農業協同組合)
- ・物品の取得について(中型コミュニティバス1台)
- ・物品の取得について(小型コミュニティバス1台)



その他意見

一年間を通じて健康で、医療の利用(各種健診を除く)を受けなかった世帯あるいは被保険者に対して、健康祝い金(地域振興商品券)を贈呈する等、住民が健康である事に喜びを感じ、生きがいを持って生活できる対策を望む声が多数ありました。

○財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部改正する条例

・一括法の施行に伴い、国に対しても寄附が出来るようになるものです。

○若狭町農村総合公園の指定管理者の指定

・有限会社 かみなか農業舎

平成25年4月1日～平成30年3月31日

○村づくり交付金事業実施計画の変更

・平成19年度より、村づくり交付金事業を施行してきたが、平成24年度で事業が完了するに当たり、事業精算に伴う事業計画内容の変更を行うものです。

教育厚生常任委員会

条例の全部改正・一部改正2件、及び新たな条例の制定3件について、付託を受け審査した結果、いずれも全員の賛成で可決すべきものと決定しました。

○若狭町介護予防拠点施設条例の全部改正

・井崎の屋内ゲートボール場「いきいきふれあい館」を指定管理者による管理にします。

主な質疑事項

問 施設はゲートボール場に限りなのか。

答 ゲートボールに限らず、グラウンドゴルフや少年野球、各種のイベントにも使っており、今後も使う方向でいきたい。

問 少年野球に使うのはいいが、条例の第1条では、介護予防施設となっている。使用させる根拠がないとおかしいのではないかと。

答 厚生労働省の補助金で建設したため、このようにせざるを得ない。高齢者の方が使われていない場合は、できるだけ広く使っていたらいいかと考える。

問 堤のグラウンドゴルフ場と同じように、障害者割引の規定をしたらどうか。

答 15条で利用料の減免を規定している。詳細は、指定管理者との協定の中で検討したい。

○若狭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

○若狭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

・以上二つの条例は、いずれも、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、いわゆる地域主権改革一括法の施行に伴い必要が生じたため制定するものです。

主な質疑事項

問 条例の規定は、我が町のどの施設に当てはまるのか。

答 五湖の郷の特養、グループホーム及びほたる熊

川宿が該当する。

問 今回は、取りあえず国の基準の追認で仕方ないが、町独自のものとしてとらえる必要がある。今後、町でいじれる部分を改正することもあるのか、国のいう「従うべき基準」「標準とする基準」「参酌すべき基準」を示してもらいたい。

答 今後対応させてもらう。

○若狭町国民健康保険上中病院事業の剰余金の処分等に関する条例

・これも地域主権改革一括法によって、地方公営企業法が改正され、地方公営企業において生じた利益や資本剰余金の処分を、条例があるいは議会の議決によって定めることとなったため、新たに条例を制定し基準を定めるものです。

○若狭町母子家庭等医療費の助成に関する条例及び若狭町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正

・離婚していなくても配偶者からのDVにより保護命令を受けている場合にも対応するという改正です。児童扶養手当法施行令の改正により必要となるため改正するものです。

請願

○「生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書」については、多数意見により、不採択にすべきものとなりました。



清水 利一 議員

森下町政についての検証は道半ばであり、次期をどう対応し、責任を果たされるのか
町長 行政課題は山積みで、2期目の町政を担当させていただきます、全力で改革に取り組む覚悟

清水 協働まちづくり体制の検討による現状と進捗状況は。

町長 随時、検討を進められており、協議会の果たす役割が重要になる。行政としても力をいれていきたい。

政策推進課長 小学校区ごとに設置し、課題対応等の部会を設け、解決に向けた取り組みの検討中で、来年4月設立を目標に進めている。

清水 電源関係交付金の減額影響による、総合計画及び次年度予算の見直しは。

町長 行政経営戦略チームを設置し、事業内

清水 新企業進出で雇用状況と町内の既存企業全体の新規雇用状況は。

町長 新進出企業2社で、今年17名、来年4月12名の予定。新規求人数全体では昨年より83人の増で52人の状況。

清水 企業誘致活動における県との連携、取り組み状況は。

町長 昨年4月より企業誘致室を設置し、県との連携強化や情報交換、共有に努めており、継続的に取り組む。

町長 昨年4月より企業誘致室を設置し、県との連携強化や情報交換、共有に努めており、継続的に取り組む。



協働まちづくり協議会（野木地区）

清水 企業振興条例施行規則の見直しを含め、雇用拡大の政策と取り組み姿勢を伺う。

町長 時期的に制度改革の必要性も認識しており、総合的にあり方も含め、検討していきたい。



小堀 信昭 議員

幼児教育で何う
町長 いいところは取り入れるべきとの思いをしている

小堀 福井型18年教育と町の保育指針との違いは。

町長 幼児期をスタート期として、自立して生きていく基礎となる力や創造力を育むことが重要となっており、町も同様の保育指針となっている。

小堀 県幼児教育プログラム⑩で知的玩具の普及とある。町の対応は。

福祉課長 「キコロ」といまして、製材所で木切れをいただき自由な発想で組み立てている。

小堀 町には2系統の保育所があり梅の里保育所の人気が高い。中身的

町長 いいところは取り入れるべきとの思いはあつて、今後地域のかかわり合いも重要な位置づけになり、所長とも十分詰めさせていただき、今日は即答を避けさせていただきます。

町長 いいところは取り入れるべきとの思いはあつて、今後地域のかかわり合いも重要な位置づけになり、所長とも十分詰めさせていただき、今日は即答を避けさせていただきます。

町長 町名義の土地、建物の売却、自販機の使用料を見直す。公用車の

小堀 今議会で国保税の負担増が審議される。住民負担ばかりでなく町独自の財源確保案はあるのか。

町長 町名義の土地、建物の売却、自販機の使用料を見直す。公用車の



「キコロ」で遊ぶ園児

一般質問

(文責：質問者本人)



増井 九右衛門 議員

町長 環境の面からも公共施設から取り組むべきと考える。

増井 民間への普及が進まないのはコストだけか。公共施設への導入は公費の無駄ではないか。

環境安全課長 イニシャルコストは石油ストーブに比べ3〜4倍、燃料コストが約1.2倍だが、二酸化炭素の排出量削減、再生可能エネルギーの面からも利用を進めたい。

バイオマスタウン構想のペレットストーブの導入数とその成果は

町長

公共施設へ38台、民間2台。成果は灯油使用に比べ年間約11トン二酸化炭素削減

増井 民間への普及が進まないのはコストだけか。公共施設への導入は公費の無駄ではないか。

観光の広域化について

増井 若狭町観光ビジョン推進のため、複数の市町で観光圏を形成し、滞在型観光推進の具体策は。

町長 嶺南地域広域連合研究会を発足し広域的に観光事業をやっている。嶺南の各市町や滋賀県とも連携し、それぞれの観光の魅力を発信し、PR活動もしている。若狭湾観光連盟で若狭路をPRし出向宣伝、雑誌で観光情報の掲載、テレビ番組制作に取り組んでいる。敦賀・美浜・若狭広域観光推進協議会で、団体バス誘致事業実施。他に三方五湖広域観光協議会でレインボーライン・三方

五湖を。小浜・若狭・高島で設立した鯖街道まちづくり連携協議会で、それぞれ広域のPRをしている。

職員の意識改革について

増井 住民視点に立った職員が増えてきたとの事だが、一般の議員と語る会で、町民の方から職員の態度について苦情があった。昨日の除雪出勤でも、住民目線なら朝早くからすべきで、過去の答弁に大変疑問。町長の具体策は。

副町長 カウンターに職員の顔写真・紹介版設置、職員行動指針を毎朝唱和している。また検証は、専門家による抜き打ち調査をしている。様々な取り組みや研修で、職員の資質向上と住民サービス向上に務めている。



ペレットストーブ

嶺南6市町で「木質バイオマス資源化の研究会」を立ち上げては

町長

「嶺南地域広域連合研究会（仮称）」に提案したい

北原 成願寺の「若狭木材流通センター」には、木材が嶺南全体から集まってくるが、今、切り出した木材が山積みになってしまっている。そのため、間伐しても木材を運び込めず、森林整備の妨げになっている。国は、自治体が「木材利用基本方針」を策定し、木材の利用を促進するよう指導している。本町ではどうなっているか。

町長 木材を使って、公共の建築や土木を行おうとするとき、国・県の効率的な助成を受けるために

北原 「基本方針」では、木材利用として考慮されるのは建築、土木、家具だけになるだろう。端材、廃材などの産業廃棄物は金をかけて処分しなければならぬが、これをバイオマス資源として活用すると、林業の育成に有効である。そのため、企業や自治体がかかわり、事業所をつくることを望ましい。れいなん森林組合を核として、嶺南6市町の行政や企業などで資源化の研究会を立ち上げてはどうか。

町長 仮称だが「嶺南地域広域連合研究会」というのがあり。私のほうからお話をしていきたい。



北原 武道 議員

町長 仮称だが「嶺南地域広域連合研究会」というのがあり。私のほうからお話をしていきたい。

北原 三十三工業団地を木質バイオマスの拠点として活用してはどうか。最近、全国で、多額の補助金を出して誘致した企業が転出して閉鎖してしまうケースが相次いでいる。三十三工業団地には地場産業の事業所ができるのが望ましい。

町長 木質バイオマスも一つの案と思うが、それに特定するのは難しい。幅広く企業誘致に向け努力する。

北原 幅広く企業誘致しているも「さつぱり来てくれる企業が無い」のが現実だ。あそこはただ1社だけあるのは、実は、材木加工の会社だ。木材の事業所が立地するのに不適ではない。「木質バイオマスの事業を始めよう」「どこかいい場所はないか」と探しているときに、三十三工業団地が「これは美味しい」となる「仕掛け」をつくっておいてはどうか、と私は提案している。政策推進課で研究していただきたい。

一般質問

(文責：質問者本人)



小林和弘 議員

あらゆる視点からのご意見やご質問を頂きました。

避難 避難先は事故が起きる場所によるが、原子力災害時は県内限定というのは。ヨウソ剤は医師の診断がないと服用できないという話だが、事故が起こってからでは間に合うか。緊急告知放送は、屋内は放送で分かるが屋外は今後どうするのか。海拔距離を表示すれば津波の避難に有効。今後も地区で避難訓練をし、自分の避難場所をきちんと確認しておくこと、また近所との連携も大事である。避難所に毛布等の必需品がない。避難場所は適切か見直しを議会ですしているか。高島市方面に抜ける道の整備について、新設も含めて伺う。

産業 近辺でコンボも動いていなので活気がない。走っているダンプも県外、京都ナンバーが多い。寂しい。三十三産業団地は相当以前から誘致が進んでいないが、誘致に町や議会はどのような努力をしているか。働く場を造って欲しい。

保育 中央保育所はいつでも子供が外で遊んでいる。高い保育料を払っているのに教えることがない。

開発 夕日の写真を撮るお客が増えているがトンネルが出来ると通行できなくなる。夕日の時間に通れるように出来ないか。山登りをするお客がいる。各集落から登れてレインボーラインまでつなげると良い。神子～常神間のトンネルを国や県に要望してほしい。成願寺地籍の白屋への入口の交差点の改良をして欲しい。上中庁舎に太陽光発電など設置するなどの活用を。北陸油化跡地のエコビレッジ構想に対する議会の考えを知りたい。国道 27 号十善の森前の信号の感応式化を要望する。館川では三世代が住むには面積が狭い。快速鉄道の電車の乗り入れを一日も早く実現してほしい。国道 162 号の鱒川橋が大変危ない。西田地区に入る玄関口でもあるので早く拡幅工事をして欲しい。松寿苑の跡地利用は。



人口 婚活相談など町ぐるみで活動されているのか。年をいかれた方への相談も必要だが、勢いのある若い男女の交流の場を持ち込んだほうが効果がある。集落の合併について検討されているか。永年住まわれた方への税の優遇報償制度等の取り組みは出来ないか。道路の拡充と娯楽施設の拡充。少子化対策はどうなっているか。



その他のご意見 平成30年国体に住民としてすべきことを研究してほしい。個人住民悦や固定資産悦などは月割に出来ないか。空き家対策はどうなっているか。職員の改革を求めている。広報やチラシはカラー刷りで見やすいが、見る人が少なくもったいない。町づくりに大学の先生を入れ過ぎて、大学のペースになってしまっている。ゴミ問題はじめ、合併後の一体化に議会は努力が足りない。議員定数を2名減らしたがその良い点悪い点は。

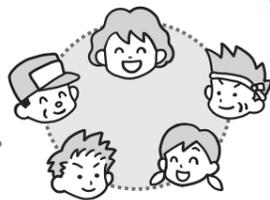


広報やチラシはカラー刷りで見やすいが、見る人が少なくもったいない。町づくりに大学の先生を入れ過ぎて、大学のペースになってしまっている。ゴミ問題はじめ、合併後の一体化に議会は努力が足りない。議員定数を2名減らしたがその良い点悪い点は。

協働の町づくりに関して

地域づくり協議会について

- 三十三：大まかな体制ができたので、住民周知して4月より活動したい。
- 気山：館長の配置をして地域づくりに取り組んでいただきたい。
- 三方：集落単位で今までやってきたが、地域づくりは初めてで準備会をたちあげている。三方小学校校下の場合は集落の大きさに差がありすぎるのが問題だ。
- 鳥羽：組織体制が確立され、課題解決に向けて取り組む。
- 岬：協議会の準備会として新しい役員も決まり防災、福祉など4月設立に向けて進めている。
- 明倫：明倫校下で集落単位の交流は全くない。地域づくり検討委員会の存在は誰も知らない。公民館がない職員がいけないでは立派な構想も絵に書いた餅になってしまう。明倫校下は三方地区でいいのでは。



他、町づくりについて

- 三方：大きい集落では原材料支給の限度額が少なすぎる。集落計画を上げてほとんど0回答。
- 三十三：若祭は1千何百万円使っているが実態は役場職員が主体で休みに出てやっている。重荷になっているのでは。名水祭り等のように地元の人が盛り上げてやるのが祭りではないか。まちづくり協議会は準備会を作ったがお金がない。若祭に使う金をそちらで使えないか考えて欲しい。若祭やツデーマーチの決算は公表されているのか。財政が厳しい時なので公表すべきと思う。
- 三宅：縄文公園、名水公園1年交代で若祭を開催できないか。名水祭りは、予算的に若祭とはバランスを欠くが、手作りの良い祭りである。
- 西田：除雪を集落で行っているのは何集落あるのか。業者が重機を手離す傾向にある。業者任せでは通勤時間に間に合わない。手を挙げれば町から重機を貸してもらえるのか。

町長・課長 値上げの背景にある収支状況は、平成19年以降、毎年2千万円から3千万円の赤字であったが、平成22年から毎年1億円ほどの赤字に膨れ上がった。平成25年

小林 平成25年4月より健康保険税を約20%増額したいとの議案が提出されました。今年になつてからの増税は介護保険料、消費税、復興増税また電気料までもが値上げの予定をされている。一方収入面においてはデフレ下で給与減、来年10月よりの年金減額と下がる一方である。この状況下での健康保険税値上げであるが、その背景にある収支状況はどうなっているか。

町長 先ずは住民の健康チェックのために各検診の受診勧奨を強化、各

小林 医療費の増加はこのままでは避ける事ができず当然その抑制を考えておられると思うので、どんな方策を考えておられるのか。

要望 国に対しては倫理的な面にも踏み込み、過度な医療を適宜なものに、被保険者としての痛み分けなども検討するよう要望して欲しい。



国民健康保険税の増額改定と今後の見通しについて
町長
今回は値上げをお願いするが、今回は抑制に努力する

平成24年 第2回「議員と語る会」

こんなご意見いただきました！

若狭町議会として2回目の「議員と語る会」を開催させていただきました。各会場、多くの参加者の皆様と意見を交わすことができ大変有意義な時間を持つことが出来ました。「他の会場ではどのような意見や質問が出るのか」といったご質問も頂きましたのでご紹介いたします。その場で回答できなかったことについては、現在検討や話し合いを進めていますので、都度それぞれにご報告して行きたいと思っております。

学校の統合について



- 自分の転校経験から、大勢の中でもまれ競争するほうが良いと考え、統合に賛成である。
- 大勢の中で学んでいる経験が多いほうが良いかと思う。
- 小浜市と比較して人口は1/2で学校数は同じである。今から考えていかなければならないのではないか。
- 教育的に何名が良いのか議論をするべきで、児童数が減ってきたからといった再編の議論はおかしい。
- 統廃合は子供のためと思ったときすればよい。行政の立場からするものではない。
- 向笠分校廃校の時、若い保護者も学校を残したかった。子供も保護者も仲がよくまとまりがあった。地域の財産として学校を大事にしたい。
- この小学校について……と言うような狭い範囲での考えではなく、町として考えるべきである。遊びの事を考えると、多い方がと思う。

常任委員会 視察 報告

総務産業建設常任委員会

平成24年10月25・26日、議会常任委員会9名、議事事務局1名で、徳島県勝浦郡上勝町（日比ヶ谷ゴミステーション）を研修した。

上勝町は、人口1,894人、世帯数868世帯、高齢化率48%（住民基本台帳平成24年4月1日付）の町で、2020年を目標としたゼロ・ウェイスト「無駄・浪費・ごみをなくす」の達成に向け、次のようなステップで取り組みを行っていた。

- リサイクル・リユースの推進による焼却・埋め立てごみの削減
- ごみになる物を買わない、使わない。
- 生産段階から、処理に困らない製品をつくることを求める。

◆ 生ごみ全量リサイクル

コンポスト、電動式生ごみ処理機の購入補助により、生ごみは全量各家庭で堆肥化・土に還しており、商業施設も、業務用電動式生ごみ処理機で堆肥化している。

◆ ごみの34分別

生ごみ以外のごみは、家庭において洗浄した後、町内に一箇所のごみ・資源集積所である「日比ヶ谷ゴミステーション」に各自が持ち込み、分別している。



日比ヶ谷ゴミステーション

◆ リユース推進拠点「くるくるショップ」

不用品を町内で「くるくる」まわしてリユースを進める「くるくるショップ」が、ゴミステーションの一角にあった。衣類、食器、雑貨などまだ使える不用品を自由に陳列することができ（上勝町民のみ）、また欲しい物は無料で持ち帰ることができる。持ち帰りは町外の方も可能で、年間約6トンの利用があり、「ゴミ削減に貢献している」。

◆ リユース推進拠点「くるくる工房」

くるくる工房には日比ヶ谷ゴミステーション横の上勝町介護予防活動センター内にあり、町内で不要になった衣類・布類や布団を打ち直した綿を使って、町内のお母さんたちが、ユニークな商品を製作、販売している。こいのぼりの鞆や浴衣、浴衣のふんどしなどが好評のこと。



こいのぼりの浴衣・鞆

◆ イベントのリユース推進「リユース食器」

祭り際には、使い捨てないリユース食器を貸出し、屋台の方に使用してもらうことで容器ごみを削減している。あわせて、分別ステーションを設け、祭りでも資源回収を心がけているとのこと。

一人ひとりが強い意志をもって、積極的に自然に働きかけながら、環境と共生していかなければならない時代であり、我が町もリサイクル率30%、県下2位の町ではあるが、更なる環境保全・景観作りを目指し、まずは家庭から地域へ、町へと展開していくことが必要である。

教育厚生常任委員会

平成24年11月5・6日、三重県亀山市関宿の町並み保存整備及び、三重県玉城町のICTを活用した町づくりについて視察研修しました。

亀山市関宿伝統的建造物群保存地区

東海道五十三次の四七番目の宿場町として栄えた関宿。現存する宿場跡としては東海道中最大の規模を誇ります。江戸時代後期から明治時代にかけて建てられた町屋が二百棟以上も現存し、昭和59年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、熊川宿に先駆けて整備されてきた町並みです。ひとつひとつの伝統的建造物の修繕が進められるとともに、空き家や空き地を利用した集会所や休憩所も整備され、ゆっくりと散策できる工夫がされていました。



関宿

「コチャゴチャした土産物屋が無く、観光地としての派手さはありませんが、電柱のない昔のままの古い町並みが残っていました。関のまちづくりは、まちなみの保存だけではなく、まちなみに根づいたさまざまな文化をともに守っていくことだということで、「関の山車」保存会の活動も伺いました。

玉城町のICTを活用した安心・元気な町づくり

玉城町は、伊勢神宮の鎮座とともに神領となり、その中心でした。大河ドラマ「江」でも紹介された織田信雄（のぶかつ）が天正3年に現在の城郭を築きました。昭和30年の合併で現在の玉城町が誕生。平成の合併では、近隣5町村で協議会を立ち上げるも合併に至らず。人口一万五千人余、面積四〇キロ平方メートルとコンパクトな町です。

平成8年民間の路線バスが大幅縮小されたことを受け、無料の「福祉バス」運行を始めたが29人乗りのマイクロバスは4〜5人程度の乗客で「空釜バス・ガラガラバス」と呼ばれていたそうです。平成21年、9人乗りのワゴン車「元気バス」を導入、オンデマンドバスという高齢者の生活にあった新しいシステムで運行しています。オンデマンドとは、注文を受けてサービスをするという意味です。

東京大学の研究チームが開発中のコンピュータを使った運行管理システムにより、無駄がなく、乗合い効率が低い運行が可能になったということでした。

利用者は、オペレーターへの電話予約のほか、パ

ソコン、携帯電話、スマートフォンや各地に設置されたバス予約端末から気軽に予約でき、自宅や目的地の近くで乗り降りができるようになっていきます。この「外出支援サービス」のほかにも、ICTを活用した安心・元気な町づくりとして、「安全見守りサービス」、「安全情報配信サービス」を連携させた複合サービスを充実していきたいとのことでした。



元気バス

議会の動き



10月13日／自衛隊合同防災訓練
(上中庁舎周辺)



10月27日／若狭地方議会議員交歓球技大会
(美浜町)



10月31日／県市町議会議員合同研修会
(福井市)



11月19日／小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会研修会
(高島市)



平成25年1月6日／三方消防団出初式



平成25年1月12日／上中消防団出初式

編集後記

年も改まり、町民の皆様にはお揃いで新春をお迎えのことと存じます。「議会だより」も早や31号となりました。少しでも読者の皆様に議会活動等を分かりやすくお伝えし、関心をもって頂けるかを目標に努力をしています。

本年も皆様に愛読して頂けるために広報委員一同、作成に努力を重ねてまいると共に、議会の傍聴についても案内、参加の呼びかけもしていきたいと思っております。変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。
(清水利二)

